

令和6年度 大鹿村森林経営制度及び森林環境譲与税活用事業実施状況

令和7年 6月

1 森林経営管理制度 市町村実施方針

別紙のとおり ( 大鹿村森林経営管理制度実施方針 )

2 森林環境譲与税導入の効果

- ・地籍調査完了していない対象森林について、森林所有者への境界を明確化させることにより所有する山林に関心を持ってもらい、次の意向調査に進めるようにする。また今後の地籍調査事業にも活用する。
- ・林地台帳システムを再構築することにより引き続き県とのデータのやり取りを進めることができる。
- ・高性能林業機械を森林組合に導入することにより、作業効率を上げ広域的に森林施業を進めることができる。
- ・役場庁舎から率先して村産材（カラマツ）を使い、引き続き公共施設だけでなく大鹿産カラマツ材の普及を進める。
- ・次年度以降の事業推進に使用するため、残額を基金に積み立てました。

3 森林環境譲与税を活用した事業一覧

(1) 森林経営管理制度関係事業

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
⑦基金積立（森林整備等）	大鹿村森林環境譲与税基金へ積立	4,573	0	0	今後増加が見込まれる森林経営管理法に基づく村自らが実施する森林整備に備えた積立		次年度以降の事業推進に使用するため、残額を基金に積み立てました。
小計		4,573	0	0			

(2) その他事業

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	事業効果
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
① 森林所有者の意向調査の準備作業	森林境界推測図作成業務委託（R5年度から繰越）	13,288	13,288	0	未国調地における境界の明確化（森林境界推測図の作成）	境界の明確化（森林境界推測図の作成）3.82km <sup>2</sup>	未国調地が多く残る村内の森林について、森林の適切な管理に欠かせない所有境界の明確化（森林境界推測図の作成）を実施することができた。また成果品をGISに反映させることができた。
① 森林所有者の意向調査の準備作業	林地台帳システム構築委託業務	1,639	1,639	0	森林経営管理事業による次世代システムを構築	現行システムの移行、新環境を構築	県が配布する次世代システムを反映させ、現行システムのデータを移行させることにより森林経営管理システムを継続して運用できる。
⑬木造公共建築物の整備等	役場庁舎木質化事業	1,760	1,760	0	村有林産カラマツ材の壁材を活用する。	庁舎階段部壁材張替70m <sup>2</sup>	本村の間伐材（カラマツ）で製材した壁材を活用して役場庁舎を改修することができた。
⑮森林・林業・木材普及活動等	高性能林業機械導入支援補助金	1,249	1,249	0	高性能林業機械導入に対する補助	スイングヤーダ 1基 油圧式集材機 1基	主伐及び搬出間伐を進めるため、高性能機械を導入することにより搬出体制を強化し作業効率をあげる。
小計		17,936	17,936	0			

合計		22,509	17,936	0	0		
----	--	--------	--------	---	---	--	--